



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？  
 身近なニュース、まちの話題などをお知らせください  
 情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

### 「楽しい化学の授業を出前します」

泉 怜佑さん (彦根工業高校 環境化学科3年)



私たち彦根工業高校環境化学科では、「みんなの専門学校プロジェクト」という事業に取り組んでいます。これは、工業高校のような専門学校が持つ設備や知識を、地元の小・中学生に伝えようとするものです。滋賀県では、彦根工業高校だけがしています。

今年、市内の4つの小学校と1つの中学校で、川の水質調査やろっこ作りなどをしましたが、11月25日には、河瀬小学校の5年生の皆さんと、ペットボトルでロケットを作りました。空気の圧力で飛ぶロケットを作るなかで、小学生にも圧力というものを実感してもらったことがうれしいです。

そのためには、ロケットが飛ぶ仕組みを小学生でも分かる言葉で説明しなければなりません。ここが一番難しいところでした。

当日は、5、6人の小学生と1人の高校生がグループになり、家から持ってきたペットボトルをつないだり、尾翼などを取り付けたりして、約30分かけてロケットを作りました。熱心に取り組んだかいもあって、校庭で試したところ、どのロケットも空高く舞い上がりました。

彼らといっしょに課題に取り組むことは、とても楽しい経験でした。これからもこのような交流が広がればいいと思います。

河瀬小学校でペットボトルのロケットを打ち上げる様子 泉さん ▶



### 「炭焼き職人になるぞ！ —鳥居本中職場体験—」

井上奎さん 金塚友秀さん 成宮一哉さん (鳥居本中2年)

鳥居本中学校では、2年生になると職場体験学習があります。昨年までは1日だけの体験でしたが、今年からは、仕事の楽しさや大変さをもっと経験できるように、2日間になりました。市内の13の事業所で、31人が貴重な体験をしましたが、私たち3人が体験したのは、炭焼きの仕事でした。

1日目は、出来上がった炭を窯から出すことから始まりました。窯から出した炭は、適当な大きさにして袋に入れるのですが、炭の粉が舞い上がり、マスクをしていても、鼻の中まで真っ黒になりました。その後、空になった窯に新しく炭にする木を運び入れました。材料はナラの木を長さ約1.3mに切っ

たものです。重いうえに、窯の中で並べるには中腰にならなくてはならず、2日間で一番大変な作業でした。

2日目は、前日に木を入れた窯に火を入れ、その後、窯に入れる材料を準備しました。長さ約1.3mの丸太を、小型の斧とくさびを使って縦に割ります。うまく割るには、木の同じところに斧を落とさなくてはならず、慣れるまで難しかったです。

半月たつと、私たちが窯に入れた木が炭になります。今回の職場体験で、炭焼きが鳥居本の自然を守る大切な仕事であることが分かりました。大変な仕事だけど、もう一度チャレンジしてみたいです。



▲原東山工房での職場体験の様子

炭焼きを体験した右から成宮さん、井上さん、金塚さん

